

令和7年9月5日

日立理科クラブ通信

No 254



「モノづくり体感スタジアム2025」に出展

「モノづくり体感スタジアム 2025(主催：モノづくり日本会議・日刊工業新聞社)」が、8月23日(土)、24日(日)の両日、東京・北の丸公園の科学技術館 展示・イベントホールで開催されました。

今回は19法人(23プログラム)が出展し、それぞれのワークショップでのモノづくりを通して、子どもたちにモノづくりの喜び・楽しさを体感してもらいました。

日立理科クラブは、昨年に続き2回目の出展で、「電気と磁石のふしぎ体験 ～ 音、光、熱、力 ～ / ～ ふしぎなコップモーターをつくろう ～」というテーマで、電気に関しての様々な科学的体験をすることと、参加者が自らコップモーターを工作して廻すコーナーを設けました。

他の出展ブースの多くは、モノづくり体験が中心でした。我々のブースでは、まずドローンがお迎えし、ここで釘付けになる子どもたちもいましたが、様々な教材に自由に触れて遊ぶこともできるので、休憩時間にも参加者以外の多くの子どもたちが訪れて教材や展示品に魅入っていました。

「電気をつくる」コーナーでは、電磁誘導や手回し発電機で発電を体感し、又、水力・火力・風力等の発電は模型で確認しました。発電の仕組みや原理が分かってもらえたようです。

「電気の変身～音に～」コーナーでは、スピーカーやマイクの構造を見て、振動することで音が伝わることを体験していました。

「電気の変身～光に～」コーナーでは、電気が光が変わるときに、LEDや蛍光灯などいろいろな照明があることと、熱が出ると消費電力が大きくなることをワットチェッカーで確認しました。一方、「電気と磁石のふしぎ」コーナーでは、IHの上に導線を置くと電流が流れる実験を観てふしぎそうにしています。

「モノづくり」では、コップモーターを作成しました。子どもたちだけでは難しいところもありましたが、講師や保護者に協力してもらいながら、参加者全員がつくり上げることができました。作品ができあがると、とても満足しているようで、楽しそうにコップを廻していました。また、おみやげの「磁力線を見る模型」をふしぎそうに、繰り返し楽しんでいるのが印象的でした。

体感実験や工作を終えて最後に提出してもらった感想には、以下のようなことが書いてありました。

- ・モーターづくりが楽しかった。
- ・モーターのしくみを見たのははじめてだったのでもっと調べてみたい。
- ・電気を大切に使いたいと思った。電気のことをいろいろと知ることができ楽しかった。

また、ある父親は、「教材が素晴らしい。これらの教材を持って学校訪問をするというのを聞いて、日立市の子どもたちは幸せですね。」と言っていました。



会場



ドローンがお迎え



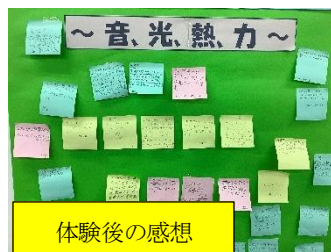
科学技術館の来場者



様々な科学体験を楽しむ子どもたち



コップモーターづくり



体験後の感想